

## 心理学理論と心理的支援(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する。</li> <li>・ 人と成長・発達と心理との関係について理解する。</li> <li>・ 日常生活と心の健康との関係について理解する。</li> <li>・ 心理的支援の方法と実際について理解する。</li> </ul>	① 人の心理学的理解	○ 心と脳	
		○ 情動・情緒	
		○ 欲求・動機づけと行動	
		○ 感覚・知覚・認知	
		○ 学習・記憶・思考	
		○ 知能・創造性	
		○ 人格・性格	
		○ 集団	
		○ 適応	
		○ 人と環境	
	② 人の成長・発達と心理	○ 発達の概念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達の定義、発達段階、発達課題、生涯発達心理、アタッチメント、アイデンティティ</li> <li>・ 喪失体験</li> <li>・ その他</li> </ul>
	③ 日常生活と心の健康	○ ストレスとストレスサー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストレッサー</li> <li>・ コーピング</li> <li>・ ストレス症状(うつ症状、アルコール依存、燃え尽き症候群(バーンアウト)を含む。)</li> <li>・ ストレスマネジメント</li> <li>・ その他</li> </ul>

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	④ 心理的支援の方法と実際	○ 心理検査の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人格検査、発達検査、知能検査、適性検査</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ カウンセリングの概念と範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンセリングの目的、対象、方法</li> <li>・ ピアカウンセリングの目的、方法</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ カウンセリングとソーシャルワークとの関係	
		○ 心理療法の概要と実際(心理専門職を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神分析、遊戯療法、行動療法、家族療法、ブリーフ・サイコセラピー、心理劇、動作療法、SST(生活技能訓練)</li> <li>・ 臨床心理士</li> <li>・ その他</li> </ul>

## 社会理論と社会システム(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会理論による現代社会の捉え方を理解する。</li> <li>・ 生活について理解する。</li> <li>・ 人と社会の関係について理解する。</li> <li>・ 社会問題について理解する。</li> </ul>	① 現代社会の理解	○ 社会システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会システムの概念、文化・規範、社会意識、産業と職業、社会指標</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 法と社会システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法と社会規範</li> <li>・ 法と社会秩序</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 経済と社会システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市場の概念</li> <li>・ 交換の概念</li> <li>・ 労働の概念</li> <li>・ 就業形態</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 社会変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会変動の概念、近代化、産業化、情報化</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口の概念、人口構造、人口問題、少子高齢化</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の概念、コミュニティの概念、都市化と地域社会、過疎化と地域社会、地域社会の集団・組織</li> <li>・ その他</li> </ul>

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 社会集団及び組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会集団の概念、第一次集団、第二次集団、ゲゼルシャフト、ゲマインシャフト、アソシエーション、組織の概念、官僚制</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族の概念、家族の変容、家族の構造や形態、家族の機能</li> <li>・ 世帯の概念</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 生活の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフステージ</li> <li>・ 生活時間</li> <li>・ 消費</li> <li>・ 生活様式、ライフスタイル</li> <li>・ 生活の質</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 社会関係と社会的孤立	
		○ 社会的行為	
		○ 社会的役割	
		○ 社会的ジレンマ	
		○ 社会問題の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会病理、逸脱</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 具体的な社会問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差別、貧困、失業、自殺、犯罪、非行、公害、社会的排除、ハラスメント、DV、児童虐待、いじめ、環境破壊</li> <li>・ その他</li> </ul>

# 権利擁護と成年後見制度(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談援助活動と法(日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む。)との関わりについて理解する。</li> <li>・ 相談援助活動における必要となる成年後見制度(後見人等の役割を含む。)について理解する。</li> <li>・ 成年後見制度の実際について理解する。</li> <li>・ 社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。</li> </ul>	① 相談援助活動と法(日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む。)との関わり	○ 相談援助活動において想定される法律問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉サービスの利用と契約</li> <li>・ 消費者被害と消費者保護</li> <li>・ 自己破産</li> <li>・ 借家保証</li> <li>・ 行政処分と不服申立</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 日本国憲法の基本原理の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的人権の尊重</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 民法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約</li> <li>・ 不法行為</li> <li>・ 親族</li> <li>・ 相続</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 行政法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政行為</li> <li>・ 行政事件手続</li> <li>・ 情報公開</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 成年後見の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成年被後見人の行為能力</li> <li>・ 成年後見人の役割</li> <li>・ その他</li> </ul>
	② 成年後見制度	○ 保佐の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被保佐人の行為能力</li> <li>・ 保佐人の役割</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 補助の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助人の役割</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 任意後見	
		○ 民法における親権や扶養の概要	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	③ 日常生活自立支援事業	○ 成年後見制度の最近の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門員の役割</li> <li>・ 生活支援員の役割</li> <li>・ 日常生活自立支援事業の最近の動向</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 日常生活自立支援事業の概要	
	④ 成年後見制度利用支援事業	○ 成年後見制度利用支援事業の概要	
		⑤ 権利擁護に係る組織、団体の役割と実際	○ 家庭裁判所の役割
		○ 法務局の役割	
		○ 市町村の役割(市町村申立)	
		○ 弁護士の役割	
		○ 司法書士の役割	
		○ 社会福祉士の活動の実際	
	⑥ 権利擁護活動の実際	○ 認知症を有する者への支援の実際	
		○ 消費者被害を受けた者への対応の実際	
		○ 被虐待児・者(高齢者を含む。)への対応の実際	
		○ アルコール等依存者への対応の実際	
		○ 非行少年への対応の実際	
○ ホームレスへの対応の実際			
○ 多問題重複ケースへの対応の実際			
	○ 障害児・者への支援の実際		

## 人体の構造と機能及び疾病(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。</li> <li>・ 国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する。</li> <li>・ リハビリテーションの概要について理解する。</li> </ul>	① 人の成長・発達	○ 身体の成長・発達		
		○ 精神の成長・発達		
		○ 老化		
	② 心身機能と身体構造の概要	○ 人体部位の名称	・ 頭部、頸部、胸部、背部、腹部、四肢、体幹、脊柱、血管	・ その他
		○ 各器官等の構造と機能	・ 血液、呼吸器、消化器、泌尿器、循環器、支持運動器官、内分泌器官、神経系、感覚器、皮膚、生殖器	・ その他
	③ 国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要	○ 国際障害分類(ICIDH)から国際生活機能分類(ICF)への変遷		
		○ 心身機能と身体構造、活動、参加の概念		
		○ 環境因子と個人因子の概念		
		○ 健康状態と生活機能低下の概念		